

柳津町小中学校校務 DX 計画

文部科学省により、令和 5 年 3 月に「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言を取りまとめ、次世代の校務 DX の方向性が示された。また、令和 5 年 9 月に「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検の実施を各教育委員会及び学校に依頼し、その結果を「「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告について（通知）」として同年 12 月に公表したところである。

このチェックリストに基づき、校務の DX に向けた取り組みを行う。

1. 1 人 1 台端末の積極的な活用

現在、保護者への一斉メールを活用することで情報連絡の効率化を図っているが、教職員と児童生徒 1 人 1 台の端末と、教育支援プラットフォームやデジタルノートアプリも活用しており、クラウド上で学校と児童生徒及び保護者間で双方向のやり取りや成績管理、出席管理なども行えることから、活用の範囲を広げていく。

また、現在、アンケート及び学校・保護者の意見集約などをオンラインフォーム作成ツールを活用して効率化を図ることや、クラウドストレージを活用して教育委員会及び学校と一部データを共有している。他にも保護者との連絡・応対といった時間の削減、業務時間外の問い合わせや連絡についても効率的に対応できることから、拡充を図っていく。

コロナ禍や緊急の保護者会などを一部オンライン形式で実施したこともあり、会場設営や受付業務、配布物の印刷作業を省くなどの負担軽減にも繋がったことから、それらの活用拡大についても引き続き検討していきたい。

なお、教職員により ICT 活用能力に差があるため、教育委員会より委託している ICT 支援業務により、ツールを使いこなせるよう勉強会や研修を実施し、教職員のスキルアップを引き続き図っていく。

2. 学校の事務手続きの簡素化とペーパーレス化

メールでのやりとりが一般的となっているが、まだ一部で使用している FAX は廃止できるよう進めていく。

また、タッチペンなどの機器や前述の各種ツール及びクラウドストレージの活用により、資料の共有を図っているものもあるが、これらによる事務手続きの簡素化や会議のペーパーレス化はまだ一部のため、引き続き推進していく。

なお、町側では県と合わせて押印廃止の動きが出ているが、学校での押印が必要な書類はまだ多いため、ペーパーレス化を進めるにはそれらの見直しも必要となる。勤怠管理システム導入による出勤簿の押印廃止など、既に進めている部分もあるため、今後も手書きによる

書類や印刷物を減らす取り組みと、同様に紙媒体からの名簿情報の手入力作業など、重複作業やミスにつながるものをなくすためのデータの一元化、端末を利用しての会議や電子化を図ることができるよう、教育委員会側でも学校からの引き上げ端末の再利用を行い、各種会議での貸し出しによる活用をするなど、ペーパーレス化を推進する。

3. 次世代校務支援システムについて

現在複数のツールにより校務のデジタル化、効率化を図っているが、次世代型校務支援システムにより、情報の一元管理、共有による更なる効率化の推進に繋がると思われることから、新たなシステムの情報収集と導入の検討をしていく。